



まつぼっくり



令和7年度
特別号
尾上小学校

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

爽秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」・「算数（数学）」・「理科」の学習状況と児童・生徒の学校や家庭での生活習慣や学習環境等についての調査が行われました。今回の調査結果は、児童の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果をもとに、学習や生活の指導に活かせるよう、教職員全体で調査結果を分析して話し合いをもちましたので、分析の結果と今後の方針をお知らせいたします。

1. 教科に関する調査（国語・算数・理科）について

国語

☆概ね力がついてきたこと

- ・書くことに必要な情報と情報との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。
- ・自分の考えを条件に合わせた文章で表現すること。



算数

☆概ね力がついてきたこと

- ・図形領域で図形の性質を基に作図することや角の大きさについて理解すること。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて説明すること。



理科

☆概ね力がついてきたこと

- ・実験や観察を通して学習した知識が定着している。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・学習した内容を基に、身近な事柄について考え、判断し、わかりやすく表現すること。

国語・算数・理科ともに、学習した知識や技能を根拠として自分の考えを記述して表現することが苦手な傾向が明らかになりました。また、途中での諦めなどからくる無回答率も高い傾向にあります。以上の点については、加古川市や全国でも同じような傾向が認められています。

今後、全学年において、学校の学習の中で児童の学習意欲を持続できるような学習課題の設定や、知識を活用する問題への取組を強化していきたいと考えております。また、引き続き基礎学力を定着させるとともに、クロムブックも有効に活用しながら、自分の考えをわかりやすく表現したり他者の意見を効果的に取り入れ自分の考えを高めたりできる「わかる学力」の育成をめざして取り組んでまいります。また、個々に応じた学習への取組についても研究を進めてまいります。

2. 生活や学習の状況（児童質問紙）について

（1） 自己有用感・自尊感情・規範意識等に係る項目

- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童は90%、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童は82.2%で、兵庫県や全国の割合を上回っています。今後も児童一人ひとりの個性を認め、自己肯定感を高めていきます。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童は97.8%、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童は86.7%で多くの児童が社会貢献を願っています。児童なりに地域や社会の中で役に立てる機会を積極的に取り入れていきたいと思っています。
- ・「友達関係に満足している」と回答した児童は94.4%「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童は97.8%と高い割合となっています。「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童は98.9%、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」と回答した児童は72.3%で、兵庫県や全国の割合を上回りました。より相談しやすい学校となるよう一層教育相談に力を入れていきます。

（2） 生活リズム・生活習慣にかかわる項目

- ・「朝食を毎日食べている」と回答した児童は76.7%で、県や全国の割合を下回っています。起床時刻や就寝時刻についても下回っており、規則正しい生活リズムについてご家庭と連携しながら推進していきます。

（3） 学習に対する状況

- ・平日、学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強をしている児童は47.8%で、兵庫県や全国の割合を大きく下回っています。また休日、1日当たり1時間以上勉強をしている児童は36.7%で、兵庫県や全国の割合を10%以上、下回っており、学校以外での学習時間には、大きな差があることが分かります。主体的に学習に取り組むために効果的な取組をより一層推進していきます。
- ・読書については、読書が好きと回答した児童は兵庫県や全国平均を少し上回るものの、学校の授業時間以外に1日当たり30分以上読書をしている児童は21.1%で、兵庫県や全国の割合を10%以上下回っています。家の蔵書冊数についても平均を上回っており、読書が好きで身近に本があっても読書をしない実態から、今後読書活動を学校や家庭において推奨していくような取組を進めます。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていると回答した児童は90%と兵庫県や全国の割合を大きく上回っています。その反面、学級活動における学級の話し合いを活かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した児童は68.9%と兵庫県や全国の割合を大きく下回る結果となりました。友達と話し合う中で深めたり気づいたりしたことを自分のものとして実践につなげていけるよう学級活動や学校行事等での実践を一層推進していきます。

「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」等では、「思いやりを大切に」を合言葉に取り組んでいる「おのえっ子」らしさが表れる嬉しい結果となった反面、昨年度に引き続き、生活リズムの方では元気に学校生活を送るために必要と思われる条件についての肯定的な回答が少なく、心配が拭えない結果となりました。夏休みが終わって、ご家庭でも生活リズムが整っているかについて、お子様とぜひ話し合っただけたらと思います。

上記に掲載しておりませんが、GIGAスクールで導入された一人一台端末を尾上小では授業でも有効に活用できていることが児童の回答から明らかとなる結果でした。今後は、一人ひとりを大切にしたい個別最適な学びの実現に向けてさらに研究を進めてまいります。

これからもご家庭と連携しながら「進んで学び たくましく生きる 心豊かな尾上っ子の育成」に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。